



# 謡

# はじめて能を楽しむ 人のために

# 本

能の台本を「謡本（うたいぼん）」といいます。  
初夏の宇治の里を舞台にした謡曲「頼政（よりまさ）」  
の解説を聞き、謡本の一部を、みんなで声に出して  
読んでみましょう。

城東区は能の祖、榎並猿楽の発祥の地です。  
地域ゆかりの伝統芸能にふれてみませんか？



# をよむ

■日時：平成 29 年 **6 月 6 日 (火)**

14 時～15 時 30 分

■場所：大阪市立城東図書館 多目的室

■講師：久田陽春子（ひさだやすこ）能楽大倉流小鼓方

■定員：当日先着 60 名 参加無料

## 『頼政（よりまさ）』について

能の曲目。二番目、修羅物。世阿弥（ぜあみ）作。  
典拠は『平家物語』巻四の「橋合戦」「宮御最期（みやのごさいご）。  
旅の僧が宇治の里へ立ち寄ると、老人が現れ名所旧跡を教えて平等院に案内する。  
扇の形に残された芝を見て僧が質問すると、これは源三位（げんさんみ）  
頼政が自害した跡だと説明し、今日が頼政の命日で、自分はその亡霊だといっ  
て消える。その夜、僧の夢の中に頼政の霊が現れ、高倉宮（たかくらのみや）  
を奉じての挙兵、宇治川の合戦と平家の敵前渡河の模様、扇の芝で自害を遂げ  
た無念を語り、弔いを願って姿を消す。

参考文献：「日本大百科全書（ニッポニカ）」/小学館 「新版 能・狂言事典」/平凡社  
「日本国語大辞典」/小学館



図版はいずれも『草花百種』  
大阪市立図書館デジタルアーカイブより一部改編

■主催・お問い合わせ 大阪市立城東図書館

電話 (06) 6933-0350

〒536-0005 大阪市城東区中央 3-5-45

<http://www.oml.city.osaka.lg.jp>



城東図書館のページは、トップページ右側のリンクからご覧いただけます。

